



マネジメントシステム認証機関の パフォーマンス指標の提供のためのデータ収集 ～IAF MD15 (JAB NS507)

公益財団法人 日本適合性認定協会
認定センター

IAF MD15 (JAB NS507)



□ IAF MD15:2014

IAF Mandatory Document for the collection of Data to Provide Indicators of MS CB's Performance

マネジメントシステム認証機関のパフォーマンス指標の提供のためのデータ収集に関するIAF基準文書

□ 発行： 2014年7月14日

□ 適用： 2016年7月14日

→ JABは、IAF MD15をJIPDECと共同で翻訳し、参考文書として JAB NS507:2014を発行

目的



- 認定機関は、マネジメントシステムの審査・認証を行う認証機関の能力、プロセスが有効であることを監視するため、現地審査を補うものとして；
 - マネジメントシステム認証機関に対し、少なくとも1年に1回、「指標」の報告を求める
 - 報告された情報をレビュー、分析し、サーベイランス活動へのインプットとする

サーベイランス活動



□ ISO/IEC (JIS Q) 17011

■ 7.11 再審査及びサーベイランス 7.11.2

認定機関は、認定した適合性評価機関が認定の要求事項を継続的に満たしていることを監視するために、定期的なサーベイランス現地審査、その他のサーベイランス活動、及び再審査を十分に短い間隔で行う手順及び計画を確立しなければならない。

□ JAB MS200:2015 第20版

■ 3.4 サーベイランス

認定された機関が継続的に認定の要求事項を満たしていることを監視するための、更新審査を除く一連の活動。

備考:サーベイランスは、サーベイランス現地審査と次のような他のサーベイランス活動との両方を含む。

- a) 機関に対して行う、認定に関する事項の調査
- b) 認定に関する機関の公表内容のレビュー
- c) 機関に対する文書及び記録(例えば、審査報告書、機関の認証サービスの妥当性を検証する内部品質管理の結果、苦情の記録、マネジメントレビューの記録)の提出要求
- d) マーケットサーベイランス訪問

- 認定機関に対する要求事項
 - マネジメントシステム認証の認定に適用

認定機関は、IAF MD15に基づき収集したパフォーマンスデータをレビュー・分析し、認定活動のインプットとする。

- 収集した個々のデータを分析し、得られる情報
- 収集した個々のデータを組み合わせて分析し、総合的に得られる情報

パフォーマンス指標



□ 「指標 (Indicator)」

認証活動の状態又はレベルを示す傾向又は事実

□ 収集する指標

次の指標を、原則として1月に、認定下の国別、認証規格別に毎年収集する。

- (1) 12月末日における認定された認証の数
- (2) 審査員数
- (3) 受け入れた認証の移転数
- (4) 実施が遅れている審査の数
- (5) 投入された審査工数

認定機関が自身のステークホルダーと協議の上、さらなる指標を策定することを妨げるものではない

(1)有効な認定された認証の数

□ データ収集・分析の目的

- ある期間における認証数の変化を把握し、認証機関の活動における重要な変化を捉える

□ 収集するデータ

前年12月末日時点で、

- 有効な認定された、単一サイト認証の数
 - 有効な認定された、複数サイト認証の数
- 取り下げられた申請及び認証の数は含めない。

→ 認証数の数え方については、IAF MD15附属書1で詳述

(2) 審査員数

- データ収集・分析の目的
 - 認証機関が認証プログラムの管理のための適切な資源を有しているかどうかについて、判断する情報(目安)を得る
 - (1)有効な認定された認証の数の情報と合わせて収集、レビューされるべき

- 収集するデータ
前年12月末日時点の、
 - 主任審査員(外部)の数
 - 主任審査員(内部)の数
 - 審査員(外部)の数
 - 審査員(内部)の数
 - 技術専門家(外部)の数
 - 技術専門家(内部)の数

(3)受け入れた認証の移転数

- データ収集・分析の目的
 - ある期間における認証の移転数の傾向を捉える

- 収集するデータ
 - 前年の1月～12月末の間に受け入れた認証の移転数の総計

(4)実施が遅れている審査の数

- データ収集・分析の目的
 - 認証機関がうまく審査プログラムを管理しているかどうか、傾向を捉える

- 収集するデータ
 - 前年の1月から12月末において、
 - 実施が遅れている審査の数(サーベイランス審査)
 - 実施が遅れている審査の数(再認証審査)

(5)投入された審査工数

□ データ収集・分析の目的

- 認証機関が審査に用いたリソースについて情報(目安)を得る

□ 収集するデータ

前年の1月～12月末の間で、

- 全ての初回審査に投入されたオンサイト工数の累計
- 全てのサーベイランス審査に投入されたオンサイト工数の累計
- 全ての再認証審査に投入されたオンサイト工数の累計

□ 収集する補足データ

審査に用いたリソースに関する補足の情報として、次のデータも収集し、(5)投入された審査工数とあわせてレビュー、分析することで、機関が行っている認証活動の規模について、情報(目安)を得る。

前年の1月～12月の間に実施された、

- 初回審査数の累計
- サーベイランス審査数の累計
- 再認証審査数の累計

JABの対応；認定の手順



□ JAB MS200

「マネジメントシステム認証機関の認定の手順」

- 4.8に本協会が機関から提供を受ける情報のひとつとして、「機関のパフォーマンスに関するデータ」を追加
- 具体的な実施要領は、附属書Fに詳述

JABの対応;実施要領



□ 実施要領の発行

- 15-認シス第0363号 (2015年11月4日)
「パフォーマンスデータ提供の実施要領について」

□ 実施スケジュール

- 2015年12月中旬
本協会より、機関の正窓口担当者宛に、パフォーマンスデータ提供依頼と、データ提供のためのExcel様式を連絡
- ~2016年1月末
本協会宛にパフォーマンスデータを提供いただく。
宛先: CB認定業務グループ nintei@jab.or.jp